



笠 置 町 勢 要 覧

～資料編～

2024

笠 置 町

“美しい自然と史跡に恵まれた心ふれあう町”

笠置町は京都府の南端に位置し、府内で一番小さな町です。町のシンボルでもある笠置山は古くから信仰の対象とされ、山頂の笠置寺には日本一といわれる弥勒大磨崖仏があります。また後醍醐天皇の行在所としても知られ、当時をしのぶ史跡も数多く残っています。

四季を通じて豊かな自然を楽しめ、休日は多くの来訪客で賑わいます。日本の桜名所百選に選定されている約1000本の桜が春を告げ、夏は木津川でのカヌーやキャンプ、秋には笠置山が錦に染まり、冬には名物キジ鍋やボタン鍋に舌鼓。笠置町は歴史と美しい自然が調和する町です。

◆町章



◆町の花

ソメイヨシノ

◆町の木

ミヤマツツジ

◆町の鳥

ウグイス

◆町の標語

美しい自然と史跡に恵まれた心ふれあう町

◆町民憲章

ふるさと笠置は、緑と水と太陽と美しい自然に恵まれ、文化のかおり高い町です。
わたしたちは愛する笠置町をよりよい笠置町にするために、この憲章を定めます。

1. 自然と歴史を守り、心ふれあう観光の町にします。
1. 仲良く学び、健康でともに働き豊かな住みよい町をつくれます。
1. 子どもの夢をそだて、みんなのための幸せな町をつくれます。
1. 互いに親切で決まりを守る明るい町をつくれます。
1. よい環境をつくり、うるおいのある町を築きます。



概要

【沿革】

笠置町は、笠置山の巨岩信仰の地として知られ、弥生時代には有樋石剣が出土するなど、古来より人々の自然崇拜の象徴となっていました。

奈良時代に入ると、東大寺建立の際に、木津川上流から木材をいかだ状にして流し運ぶ為の重要な津(港)として栄えていました。また、笠置寺の本尊、弥勒大磨崖仏や虚空蔵磨崖仏などは奈良時代中期のものと推測されており、その後、平安の末法思想にともなう弥勒信仰の隆盛で、鎌倉時代まで「笠置詣で」が盛んでした。また多くの修行者や行者の修行の場としても繁栄しましたが、鎌倉末期、後醍醐天皇が笠置山を要塞として行在所を置いたことによって北条幕府との攻防戦の舞台となり、山は焼失し衰退の一途をたどることとなりました。

近世に入ると伊賀上野までのびる伊賀街道が伊勢詣での街道として賑わい、笠置は藤堂氏を藩主とする伊勢津藩の所領となります。明治4年(1871)に京都府管下に統合され、明治22年(1889)には笠置村、切山村、有市村、飛鳥路村の四ヶ村が合併して、笠置村が誕生しました。

明治30年(1897)には関西鉄道伊賀上野から加茂間が開通し、笠置駅が設置されました。翌年には木津川河岸の絶壁を拓いて新道が開通し、他市町村との交流や新人口の流入など近代化が一段と進みます。また明治末年には木津川に笠置を南北に結ぶ橋がかけられました。大正時代には笠置山登山道路が改修され、昭和3年(1928)に笠置山史跡名勝地保存会が発足。昭和7年(1932)に笠置山と山麓および木津川景勝地131.1ヘクタールが国の史跡名勝地として指定され、風光明媚な観光地としての基盤が整いました。

昭和9年(1934)、村民一致の強い希望によって町制を施行、笠置町として新たな一步を踏み出しました。昭和24年(1949)に京都府立自然公園に指定され、日本の古い歴史が息づく、自然に恵まれた町として歩みを進めています。また観光都市としても知られ、近年のレジャーの多様化によりキャンプ場としての利用も増え、年間20万人を超える観光客が訪れています。

	江戸	廃藩置県	明治 4.11	明治 9	明治 10	明治 17	明治 22.6	昭和 9
南笠置村	藤堂藩	津県	旧京都府 管下	笠置村	(単独戸長)	(連合)	笠置村	笠置町
北笠置村								
切 山 村				切山村	(単独戸長)			
下有市村				有市村	(連合戸長)			
上有市村								
飛鳥路村	柳生藩	柳生県		飛鳥路村				

【位置】

笠置町は、京都府の南端の相楽郡の東部にあり、北緯35度45分、東経135度56分に位置しています。東は南山城村、西は木津川市、北は和束町、南は奈良市に接しています。

面積は、23.52平方メートルで、町の中心を東西に木津川が流れ、その南岸にはJR関西線、北岸には国道163号線が走っています。

【風土】

気候は内陸性気候で気温の年較差、日較差は大きいですが、夏には木津川から心地よい風が吹き寄せます。また切山地区は高原的気候で農耕に適しています。

地質は花崗岩ホルンフェルスのため地盤が弱く、しばしば大きな災害をもたらす一因となっています。また雨がすぐ流れ出して木津川に注ぐため、河川等が濁流となることもあります。

人口

人口・世帯数 (各年4月1日現在)

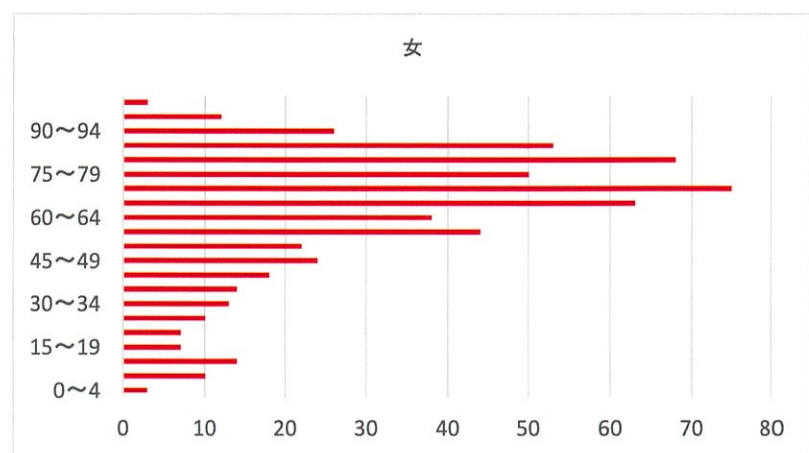
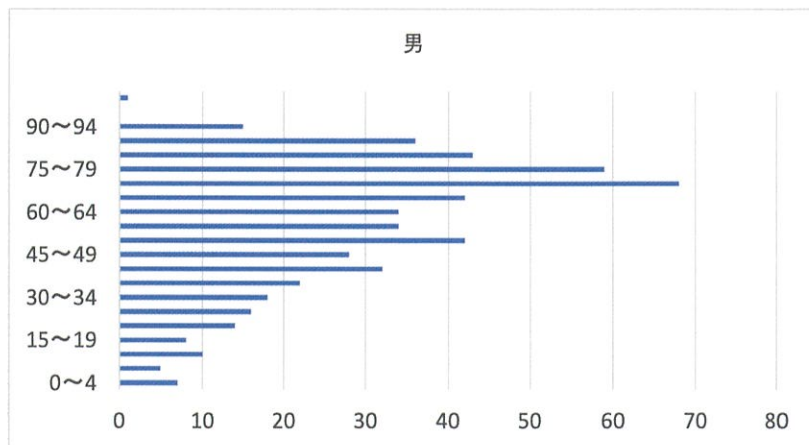
	人 口	世帯数
昭和 30 年	3,206	663
昭和 35 年	3,048	679
昭和 40 年	2,942	678
昭和 45 年	2,721	664
昭和 50 年	2,631	672
昭和 55 年	2,506	684
昭和 60 年	2,429	693
平成 2 年	2,311	676
平成 7 年	2,223	688
平成 12 年	2,056	672
平成 17 年	1,786	652
平成 22 年	1,626	631
平成 27 年	1,368	573
令和 2 年	1,144	522
令和 6 年	1,108	579

地区別人口及び世帯数 (令和6年4月1日現在)

	人 口	世帯数
南部区	548	285
北部区	52	28
切山区	79	40
西部区	297	163
東部区	114	55
飛鳥路区	18	8
計	1,108	579

年齢別人口構成 (令和6年4月1日現在)

年 齢	男	女
0～4	7	3
5～9	5	10
10～14	10	14
15～19	8	7
20～24	14	7
25～29	16	10
30～34	18	13
35～39	22	14
40～44	32	18
45～49	28	24
50～54	42	22
55～59	34	44
60～64	34	38
65～69	42	63
70～74	68	75
75～79	59	50
80～84	43	68
85～89	36	53
90～94	15	26
95～99	0	12
100～	1	3
計	534	574



行政

【歴代町長】

	氏 名	就任日
1	窪田 要助	昭和 9 年 1 月
2	岩田 捨次郎	昭和 20 年 5 月
3	吉岡 憲一	昭和 20 年 10 月
4	窪田 要助	昭和 27 年 8 月
5	永井 角造	昭和 29 年 5 月
6	野田 寅蔵	昭和 44 年 3 月
7	滝口 吉一	昭和 52 年 3 月
8	中西 巖	平成 12 年 4 月
9	松本 勇	平成 20 年 4 月
10	西村 典夫	平成 28 年 4 月
11	中 淳志	令和 2 年 4 月
12	山本 篤志	令和 6 年 4 月



【歴代助役(副町長)】

	氏 名	就任日
1	西浦 伊蔵	昭和 18 年 2 月
2	二滝 為右門	昭和 19 年 5 月
3	滝山 兼一	昭和 20 年 7 月
4	笠田 金三郎	昭和 22 年 6 月
5	藤井 源市	昭和 28 年 3 月
6	笠田 金三郎	昭和 28 年 5 月
7	野田 寅蔵	昭和 33 年 2 月
8	奥 小太郎	昭和 57 年 12 月
9	中西 巖	平成 8 年 12 月
10	西林 勝之	平成 12 年 1 月
11	山口 哲志	平成 16 年 1 月
12	青柳 良明	平成 29 年 6 月

【歴代収入役】

	氏 名	就任日
1	滝山 兼一	昭和 18 年 9 月
2	中嶋 新之助	昭和 20 年 9 月
3	森井 実	昭和 22 年 9 月
4	中田 源次郎	昭和 24 年 12 月
5	野田 寅蔵	昭和 28 年 4 月
6	中田 源次郎	昭和 31 年 4 月
7	竹田 政一	昭和 34 年 2 月
8	今井 秀好	昭和 42 年 2 月
9	中西 巖	昭和 61 年 3 月
10	西林 勝之	平成 8 年 12 月
11	山口 哲志	平成 12 年 1 月

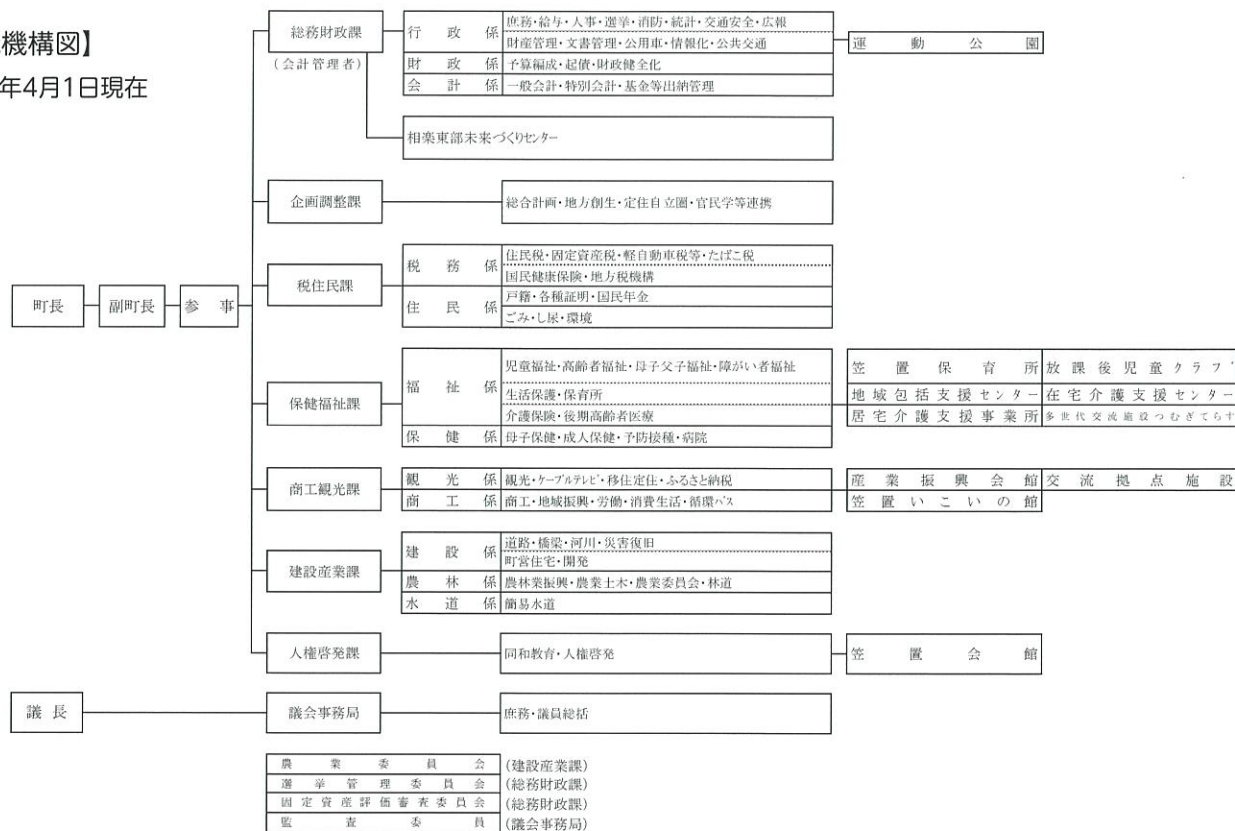
【部門別職員数】

(各年4月1日現在)

部門	平 12	平 17	平 22	平 27	令 2	令 6
普通会計	議 会	2	2	2	2	2
	総 務	10	11	12	11	14
	税 務	4	4	2	4	4
	民 生	18	15	13	14	12
	衛 生	4	3	3	3	4
	農林水	1	1	1	2	2
	商 工	2	2	2	3	2
	土 木	4	4	3	3	3
	教 育	5	5	4	3	2
	小計	50	47	42	44	44
公営企業会計	水 道	1	2	2	1	2
	その他	3	3	2	1	2
	小計	4	5	4	2	4
合 計	54	52	46	46	49	49

【組織機構図】

令和6年4月1日現在



議会

【歴代議長】

	氏名	就任日
1	小谷 健治	昭和22年4月
2	田中 長三	昭和26年4月
3	今井 喜市郎	昭和28年12月
4	小谷 健治	昭和32年11月
5	山田 金次	昭和43年7月
6	石田 高吉	昭和51年11月
7	北川 一三	昭和55年11月
8	坂口 正夫	昭和59年11月
9	田中 丞	昭和63年11月
10	坂本 俊孝	平成2年12月
11	柳原 照明	平成6年12月
12	田中 丞	平成8年11月
13	坂本 俊廣	平成10年12月
14	柳原 照明	平成12年11月
15	竹本 喜重	平成14年9月
16	坂本 俊廣	平成16年11月
17	山本 敏一	平成18年10月
18	石田 春子	平成20年11月
19	西岡 良祐	平成24年11月
20	杉岡 義信	平成26年12月
21	大倉 博	令和2年11月
22	西 昭夫	令和4年12月

【歴代副議長】

	氏名	就任日
1	田中 長三	昭和22年4月
2	中西 元吉	昭和26年4月
3	伊左治 小三郎	昭和28年12月
4	西村 初造	昭和31年3月
5	川北 真太郎	昭和32年4月
6	今井 喜市郎	昭和36年4月
7	山田 金次	昭和43年4月
8	坂口 正夫	昭和43年7月
9	奥田 伊惣兵衛	昭和44年4月
10	石田 高吉	昭和47年11月
11	武村 勇	昭和51年11月
12	坂本 俊孝	昭和55年11月
13	田中 丞	昭和59年11月
14	柳原 照明	昭和63年11月
15	坂本 俊廣	平成6年12月
16	中川 皖司	平成10年12月
17	石田 春子	平成12年11月
18	山本 武義	平成14年9月
19	山本 敏一	平成16年11月
20	松本 勇	平成18年10月
21	石田 春子	平成20年2月
22	和田 栄雄	平成20年11月

23	杉岡 義信	平成24年11月
24	石田 春子	平成26年12月
25	松本 俊清	平成28年11月
26	坂本 英人	平成30年12月
27	大倉 博	令和2年3月
28	西 昭夫	令和2年11月
29	由本 好史	令和4年12月

財政

【普通会計年度別状況】

(単位:千円)

		平成 12 年度 決算額	平成 22 年度 決算額	平成 27 年度 決算額	令和 2 年度 決算額	令和 5 年度 決算額
歳入	町 税	175,274	176,508	158,397	149,634	153,484
	地 方 譲 与 税	8,820	7,628	6,537	9,108	10,280
	利 子 割 交 付 金	9,567	953	387	113	46
	配 当 割 交 付 金	—	422	1,141	787	1,143
	株式等譲渡所得割交付金	—	148	1,098	879	1,153
	地 方 消 費 税 交 付 金	18,044	17,469	30,840	27,400	26,573
	ゴルフ場利用税交付金	31,170	48,063	41,991	31,471	34,719
	自動車取得税交付金	8,031	2,581	1,917	8	72
	自動車税環境性能割交付金				938	1,303
	法 人 事 業 税 交 付 金				187	2,678
	地 方 特 例 交 付 金	4,946	3,346	90	616	201
	地 方 交 付 税	990,885	750,895	794,745	805,766	872,705
	分 担 金 及 び 負 担 金	6,047	4,171	44,621	35,608	40,253
	使 用 料 及 び 手 数 料	5,107	5,554	22,088	16,951	13,483
	国 庫 支 出 金	72,257	140,160	91,639	346,550	128,248
	府 支 出 金	111,178	98,019	88,052	65,391	59,321
	財 産 収 入	3,803	7,048	367	653	3,485
	寄 附 金	0	30,044	958	3,735	4,926
	繰 入 金	61,937	42,005	22,886	33,006	37,205
	繰 越 金	250,123	22,894	26,470	16,406	39,571
	諸 収 入	97,937	119,626	30,490	21,198	44,582
	町 債	42,100	128,224	110,265	263,691	122,635
	合 計	1,897,226	1,605,758	1,474,979	1,830,096	1,598,066

歳出	議 会 費	55,253	40,642	51,014	45,491	43,999
	総 務 費	290,319	514,839	402,772	655,333	408,030
	民 生 費	302,705	317,351	337,324	332,579	363,030
	衛 生 費	204,898	220,635	131,183	172,036	141,091
	農 林 水 産 費	39,024	14,580	20,018	28,100	30,000
	商 工 費	52,834	65,870	77,584	87,577	95,764
	土 木 費	178,946	119,577	111,326	159,204	115,100
	消 防 費	86,432	66,848	64,022	73,283	137,817
	教 育 費	321,926	—	66,234	83,364	64,314
	災 害 復 旧 費	—	645	3,287	1,970	1,868
	公 債 費	288,486	190,737	99,600	124,644	139,744
	諸 支 出 金	0	0	0	0	0
	合 計	1,820,823	1,551,724	1,364,364	1,763,581	1,541,594

【普通会計決算収支】

(単位:百万円)

区分	歳入	歳出	形式収支	実質収支	単年度収支	実質単年度収支	積立金残高	地方債残高
令和元年度	1,500	1,474	26	18	△ 59	△ 99	720	1,352
令和 2 年度	1,830	1,764	67	11	△ 7	△ 37	706	1,496
令和 3 年度	1,751	1,639	112	103	92	102	697	1,584
令和 4 年度	1,577	1,488	90	84	△ 19	20	788	1,491
令和 5 年度	1,598	1,542	56	13	△ 71	△ 91	820	1,478

【公営企業決算:簡易水道】

(単位:千円)

区分	単年度収支	実質収支
令和元年度	△ 1,790	510
令和 2 年度	5,443	5,953
令和 3 年度	△ 1,589	4,364
令和 4 年度	△ 2,529	1,835
令和 5 年度	△ 7,152	28,603



保育・教育

【保育所園児数】

(各年4月1日)

	施設数	園児数
平成 12 年	2	41
平成 17 年	2	43
平成 22 年	1	23
平成 27 年	1	18
令和 2 年	1	9
令和 6 年	1	8



【笠置小学校児童数】

(各年4月1日)

	学級数	児童数	教職員数
平成 12 年	6	83	11
平成 17 年	6	63	11
平成 22 年	6	57	11
平成 27 年	6	24	16
令和 2 年	6	24	11
令和 6 年	7	21	15

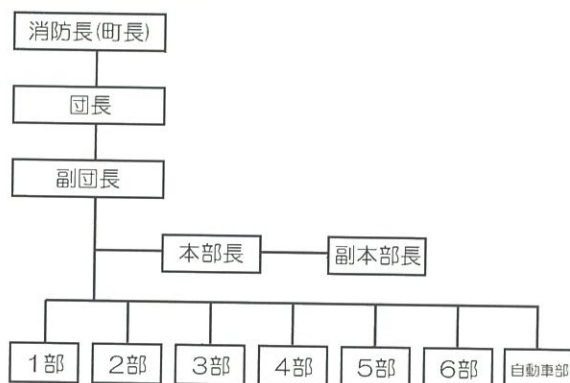
【笠置中学校生徒数】

(各年4月1日)

	学級数	児童数	教職員数
平成 12 年	6	129	17
平成 17 年	4	114	15
平成 22 年	4	112	14
平成 27 年	4	69	16
令和 2 年	5	56	16
令和 6 年	5	44	15

消防・防災

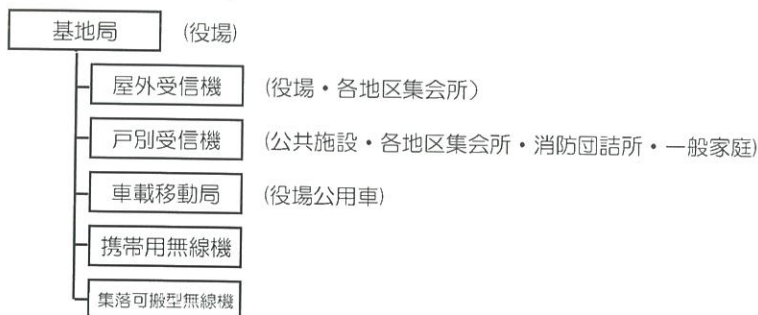
【消防団組織】



【団員数】(令和6年4月1日現在)

団 長	1 名
副 団 長	2 名
本 団	3 名
第 1 部	27 名
第 2 部	13 名
第 3 部	11 名
第 4 部	6 名
第 5 部	0 名
第 6 部	7 名
自 動 車 部	15 名
計	85 名

【防災行政無線システム】



昭和62年4月 笠置町防災行政無線局開局
 平成23年3月 操作卓システム外化整備完了
 平成25年3月 固定システム外化整備完了
 令和6年3月 操作卓更新完了



産業・経済

【産業別就業人口】

	第1次産業	第2次産業	第3次産業	分類不可能	合計
平成2年	77	310	658	7	1,052
平成7年	77	327	659	2	1,065
平成12年	54	242	652	0	948
平成17年	48	212	609	0	869
平成22年	22	165	503	0	690
平成27年	24	131	440	0	595
令和2年	27	112	367	0	506

【農業】

	農家数		農業就業者数
		うち専業農家	
平成 2 年	133	18	186
平成 7 年	114	19	138
平成 12 年	113	1	64
平成 17 年	100	5	37
平成 22 年	95	8	40
平成 27 年	82	7	24
令和 2 年	65	-	17

【工業】

	製造業事業所数	従業者数
平成12年	6	62
平成17年	6	49
平成22年	5	34
平成26年	6	61
平成29年	7	60
令和元年	4	38
令和3年	3	35

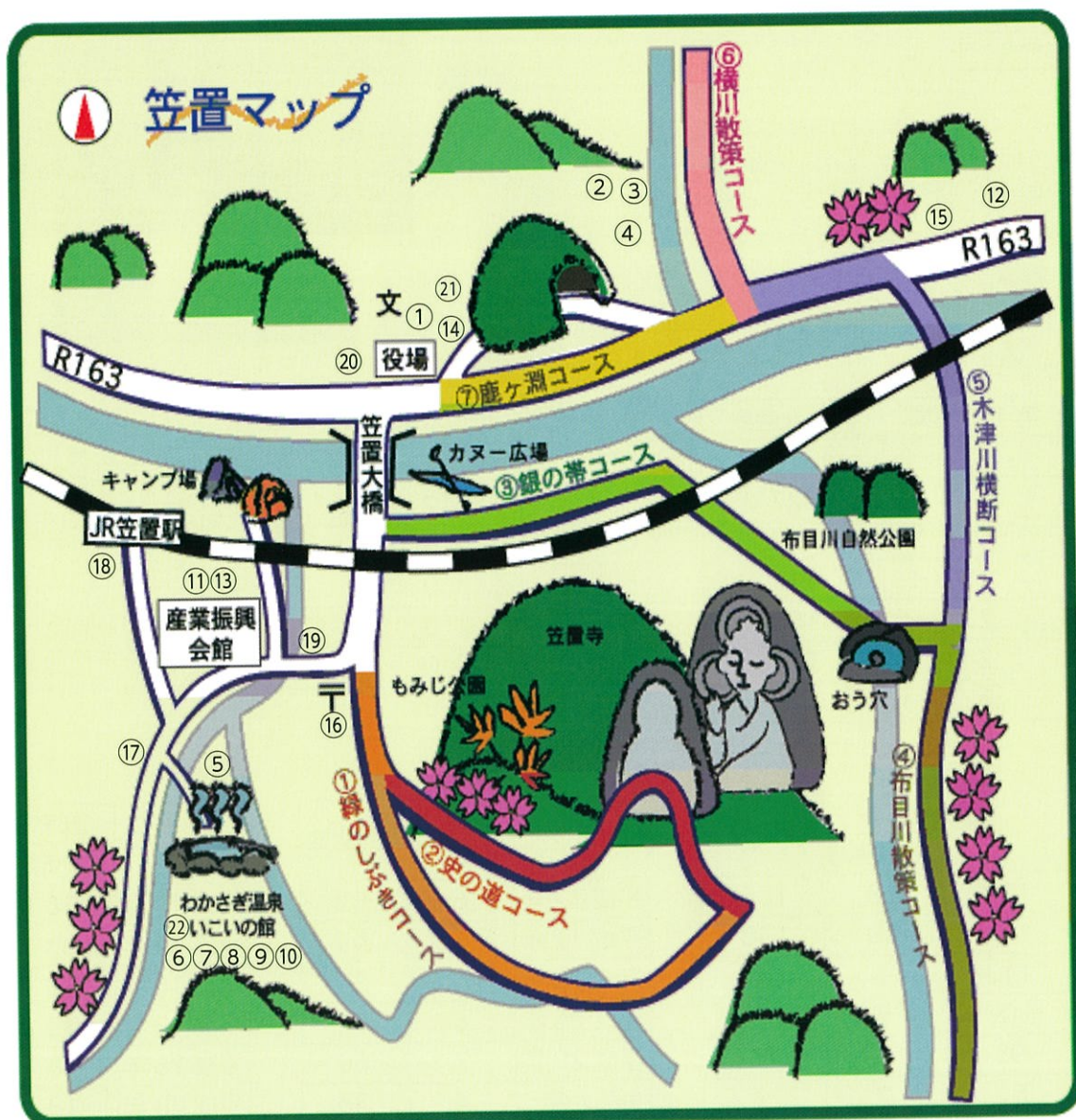
【商業】

	卸売・小売業	
	事業所数	従業者数
平成11年	36	137
平成14年	33	127
平成16年	33	121
平成19年	33	110
平成26年	18	49
平成28年	18	62
令和3年	13	36

公共施設

	施設名	所在地
①	笠置町役場	笠置西通 90-1
②	笠置会館	有市羽根田 42
③	笠置児童館	有市羽根田 42
④	笠置保育所	有市羽根田 24
⑤	笠置町デイサービスセンター	笠置隅田 24
⑥	笠置町多世代交流施設つむぎてらす	笠置隅田 27
⑦	笠置放課後児童クラブ	笠置隅田 27
⑧	笠置町包括支援センター	笠置隅田 27
⑨	笠置町指定居宅介護支援事業所	笠置隅田 27
⑩	笠置町在宅介護支援センター	笠置隅田 27
⑪	笠置町産業振興会館	笠置佃 46

	施設名	所在地
⑫	笠置町運動公園	有市岩谷 17
⑬	相楽東部広域連合教育委員会笠置町分室	笠置佃 46
⑭	笠置小学校	笠置上津 30
⑮	相楽中部消防署東部出張所	有市西狭間 19
⑯	笠置郵便局	笠置市場 26
⑰	木津警察署笠置駐在所	笠置和田前 75-4
⑱	笠置駅	笠置栗栖
⑲	笠置町商工会	笠置佃 3-1
⑳	京都やましろ農業協同組合笠置取次店	笠置西通 78
㉑	相楽東部未来づくりセンター	笠置上津 57
㉒	笠置いこいの館	笠置隅田 24



笠置町のあゆみ

年 月	事 項	年 月	事 項
4 11	京都府管下となる（南笠置・北笠置・切山・上有市・下有市は津県から、飛鳥路は柳生県から）	52 5	笠置町立児童館完成
5	笠置郵便局創設	54 3	切山区総合センター完成
5	各村に戸長を置く	55 4	笠置町立第 1 保育所・第 2 保育所完成
5	区制により、第 9 区、第 10 区に分属	56 11	笠置町役場庁舎及び老人福祉センター完成
6 11	笠置小学校開校	57 2	笠置小学校全焼
9	笠置村設置（北・南笠置合併）	57 7	国道 1 6 3 号線笠置トンネル完成
	有市村設置（上・下有市合併）	58 1	東部区集会所完成
12 12	第 8 組設置（切山・笠置・有市・飛鳥路 4 カ村）	2	飛鳥路集会所完成
14 10	聯合長役場設置（切山・笠置聯合）	8	笠置小学校完成
16 11	南笠置に笠置小学校分校を設置	60 1	笠置小学校体育館完成
17 6	聯合戸長役場設置（切山・笠置・有市・飛鳥路 4 カ村）	2	町制施行 50 周年記念式典並びに笠置小学校竣工式開催
19 11	木津警察署笠置分署設置		西部区コミュニティセンター完成
20	笠置小学校を笠置尋常小学校に改称	62 4	笠置町防災行政無線開局
22 4	笠置村設置	元 5	わかさぎ公園完成
27 12	笠置小学校に補修科設置	2 3	笠置町産業振興会館完成
28 3	伊賀街道改修（北笠置―有市間、30 年完成）		笠置由来モニュメント完成
30 11	笠置駅開設（関西鉄道伊賀上野加茂間開通）		笠置山駐車場完成
32 10	笠置尋常小学校に高等科を併設、補修科廃止	3 3	羽根田住宅増築
	笠置尋常小学校を笠置尋常高等小学校に改称		有市簡易水道増設
37 5	笠置分署廃止	9	栗足橋架け替え
	笠置巡查部長派出所設置		元弘戦モニュメント完成
40	関西水力電気株式会社が布目川に第 2 発電所を設置	5 12	笠置歯科診療所完成
45	南北笠置間に初めて笠置橋を架設（捲き上げ式）	6 3	東部簡易水道完成
3 12	笠置町立実業補習学校男子部創設	4	町制施行 60 周年記念式典開催
4 3	笠置橋流出により架け替え	5	笠置町ケーブルテレビ開局
12	笠置水電株式会社設立	9 4	笠置いこいの館完成
7	笠置橋、吊り橋に架け替え（大正 6 年出水により墜落）		笠置デイサービスセンター完成
8	米騒動（笠置）150 人	12 8	笠置運動公園完成
9 4	木津笠置線、笠置上野線、笠置榛原線開通	13 4	木津警察署笠置駐在所設置
12	笠置公園新設（実測 4,800 坪）	14 11	笠置町役場第 2 庁舎完成
15 3	電話交換開始	15 4	切山簡易水道完成
15 5	巡查部長派出所移転（大手橋西詰）	16 4	町制施行 70 周年記念式典開催
7	青年訓練所創設	17 4	飛鳥路飲料水供給施設完成
5	府道笠置榛原線、笠置上野線改修着手（昭和 8 年度にほぼ完成）	12	ADSL 運用開始
7 4	笠置山及び付近一帯を史跡名勝地に指定（昭和 7 年 4 月 19 日文部省告示第 110 号）	18 4	笠置保育所統合
7	布目川準用河川編入（昭和 7.7.22 府告示第 560 号）		笠置すまいるセンター完成
8 12	部落有財産（宅地 3,212 坪、山林 1 町 9 反）統一の話題あり	19 3	笠置橋側道橋完成
9 1	笠置町村制施行、笠置町となる	20 12	相楽東部広域連合設立
16 4	笠置尋常高等小学校を笠置国民学校に改称	22 3	地デジ運用開始
22 4	笠置国民学校を笠置町立笠置小学校に改称	25 3	防災行政無線デジタル化整備完了
5	笠置町立笠置中学校開校	26 11	町制施行 80 周年記念式典開催
24 4	組合立笠置中学校開校（笠置・高山・大河原）	28 10	伊賀・山城南定住自立圏形成協定締結
26 11	相楽郡伝染病組合加入	29 3	笠置会館耐震改修完了
	相楽郡町村税滞納整理組合加入		映画「笠置 ROCK」完成
30 4	南笠置町営簡易水道敷設	4	笠置小学校給食費・修学旅行費無償化実施
	笠置中学校を笠置町南山城村組合立笠置中学校とする		相楽東部未来づくりセンター設置
31 6	笠置町立保育園開園	10	相楽東部広域バス運行開始
34 8	笠置大橋竣工	30 4	交流拠点施設設置
36 4	笠置町国民健康保険事業開始	6	JR 笠置駅前整備（駅舎、ロータリー他）完成
39 5	笠置山町営簡易水道施設敷設		多世代交流施設つむぎてらす開所
44 3	巡查部長派出所移転（役場前）	元 11	町道笠置山線共用開始
46 4	有市西部区町営水道敷設	2 9	中央公民館閉館
48 3	町立笠置会館完成	3 4	高度情報ネットワーク民間移行
10	笠置中央公民館完成	4 2	笠置町本庁舎耐震改修完了
50 12	笠置中学校統合校舎完成	5 1	笠置町議会議場音響システム更新
		11	笠置小学校創立 150 周年
		6 3	防災行政無線操作卓更新
		11	町制施行 90 周年記念式典開催



京都府 笠置町

〒619-1393 京都府相楽郡笠置町笠置西通90-1

TEL.0743-95-2301 FAX.0743-95-2961

<http://www.town.kasagi.lg.jp/>